

算数科 小学校3年

単元名「2けたをかけるかけ算の筆算」

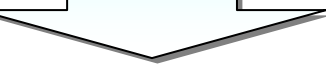
本時の流れ（第3時）

本時の目標

- (2位数) × (2位数) の計算の仕方を理解する。
- 筆算の部分積の意味を理解して、筆算をすることができる。

【復習】

23×30 の計算の仕方を復習する。



【問題文の把握と立式】

問題文を読み、前時と比べて似ているところ、違うところを見つけ、式を立てる。

【問題文】

1個 23円のみかんと 34こ買います。何円になりますか。



【めあての提示と見通し】

- みかん1個の値段は変わらない。
- 買う個数が増えている。
- 4個だけ増えている。

【めあて】

23×34 の計算の仕方を考えよう。



【自力解決】

図や言葉で計算の仕方をノートに書く。

【めあての把握】

前時の問題からみかんが4つ分だけ増えていることを、図や実物を使って視覚的に実感させる。

【発問】

みかん34個の代金は何円になるか。考え方を図や言葉や式で書きましょう。

【集団解決】

- ・ 34個のみかんと30個と4個に分け、それぞれの代金を求め、合わせる方法を確認する。
- ・ 筆算の部分積の意味を考える。
- ・ 筆算の仕方をまとめる。

23	23	23
×34	×24	×24
92	92	92
	69	69
		782

(例)

$$\begin{array}{r} 23 \times 30 = 690 \\ 23 \times 4 = 92 \\ \hline 690 + 92 = 782 \end{array}$$

【自力解決】

4個だけ増えていることを図と対応させながら確認する。23円が4つ分で、 $23 \times 4 = 92$ を出させる。

言葉で説明している児童には式を、図や式で考えている児童には言葉で、説明できるようにうながす。式と言葉をつなげることで、筆算の考え方の理解しやすくする。

【話し合い】

- ・ 92と690は何の数字であるかを言葉で説明させる。
- ・ 782が92と690を足したものであることを確認する。
- ・ 690の0の扱いについて説明する。

【適応問題】

練習問題を解く。

【学習のまとめ】

本時で学習した筆算の手順を確認しながら、みんなで答えを合わせる。

CLICK

詳しい指導案はこちら

HOME

授業展開例へ

単元の流れへ

評価問題